

- 一三、一、一回鮮米五十萬石買上發表
- 一五、一、米穀委員會で基準米價引上決定
- 一九、一、鮮米第二次補充買上要綱發表
- 二五、一、米穀統制案成る
- 二七、一、管外移出許可制徹底
- 二九、一、第二回鮮米千四百萬石買上
- 三〇、一、一、米穀統制法案小委員會で可決、内地米買換へ、鮮米買上  
要綱發表
- 三四、一、米穀統制答申案同問題調査總會で可決
- 一六、一、一、内鮮米及肥料應急資金五千萬圓融通に決定
- 二四、一、一、朝鮮總督府鮮米統制の目的で叔五十萬石買上げ
- 二六、一、一、第四回鮮米十三萬三千石買入決定
- 三一、一、一、大藏當局、米穀需給會計資金を七億圓に増額決定
- 一八、一、一、鮮米買入數量廿八萬八千石と農林省發表

財團法人協調會大阪支所

- 二〇、一、一、七年度米生産費廿圓八十七錢と農林省發表
- 三一、一、一、米穀統制法案、衆議同委員會で可決
- 四、一、一、爲替管理、米穀統制法案衆議院本會議通過
- 二二、一、一、米穀統制法案、貴族院委員會可決
- 三〇、一、一、米穀法施行令改正要綱實施
- 一六、一、一、旱害地救済農林省對策豫備金二百五十萬圓支出決定
- 二五、一、一、米穀資金損失肩替大藏省反對
- 二六、一、一、本年水稻作況全國的には稍良と農林省發表
- 二八、一、一、自作農創設資金千五百萬圓各府縣割當決定。米價公定  
價格を削る。

然し之等の諸對策にも拘らず、米價の落勢は加はるのみで、さらに東北、北陸の早場米出廻期の迫るにつれて一層その度を増したかくて、政府、各政黨とも米價維持策に狂奔してゐる。すなはち關内では高橋藏相を先願とする、政友系關係それと政友會は臨時

財團法人協調會大阪支所